

先端機器の導入と高度な医療技術で 患者負担に配慮した高精度な診断を目指す!

医療法人社団 松弘会 三愛病院

埼玉県にある三愛病院。民間病院でありながら、大学病院や国立病院にもひけをとらない医療サービスの提供を目指し、随時、先進機器を導入。それらの能力を引き出せる医師をはじめとした医療スタッフも充実。すべては患者負担を軽減することから始まった。

医療法人社団 松弘会
三愛病院理事長 清陽 輝久氏

1975年、東邦大学医学部卒業。85年三愛病院設立。97年医療法人社団松弘会理事長。93年、埼玉県で先駆けて腫瘍化学療法を実施。2005年2月に当院を設立。歩行可能な低侵襲人工骨関節置換術を学会で発表した。



地域に根差した医療を提供して30年 “健診元年”と位置付け早期発見治療を目指す

創立30周年を迎えた三愛病院は、24時間の救急医療体制を持つ地域の中核病院である。外科、内科をはじめとして診療科目は幅広く、年間約5000台の救急車を受け入れている。今年2月には健診センターを「さくら」健康センターを「さくら」健康センターとしてリニューアルオープン。健診元年と位置付け、病気の早期発見・早期治療を目指している。

「一刻も早く正確な診断体制を持つ地域の中核病院にするために、はじめから精度の高い機器を使って検査をしよう」と清陽理事長は語る。3.0テスラの高磁場で0.5ミリの細い血管もクリアに描出する最新のMRI、X線の被ばく量を大幅に減らしたCT、より鮮明な画像が撮影できる3.0列CTなどを導入している。

日本人に多い大腸がんは大腸ポリープ 40歳を過ぎたら一度は大腸の内視鏡検査を

大腸がんという男性の「大腸がん健診では、まず便潜血の検査をしますが、がん発生の危険性のある前がん病変や腺腫は見つけることができません。大腸がんや大腸ポリープは十分に治療可能な病気です。内視鏡検査に抵抗がある方も多いと思いますが、静脈麻酔で痛みもほとんどありませんし、検査だけであれば

10分ほどで終了します」三愛病院の消化器内科にも、やはり先端の内視鏡システムが整備されている。この秋に導入された「LCI」は民間の医療機関では内側から内視鏡で腫瘍の周囲を電気メスで切開し、腹腔側からは消化器外科医が腹腔鏡で切開線に沿って病変をくり抜きます。手術時間も短く、切除部分が少ない。最大のメリットは胃の機能を温存できることです。

健康センターと専門医が緊密に連携 病気が発覚してもスピーディーな対応が可能に

消化器内科の岩本医師とともにLECSを手がけたのは消化器外科の清陽義久医師である。「腹腔鏡手術自体は日新しいものではないのですが、開腹手術と比べて傷が小さくてすむため、術後の痛みも少なく早期に体を動かして回復も早く、お腹の傷もほとんど目立たないというメリットがあります」

LECSは2008年頃から行われているが、民間の医療機関ではまだあまり例がないという。腹腔鏡・内視鏡のスペシャリストが揃わないとできない手術だからだ。

「約3年前、私が着任してから検査機器が刷新されました。多チャンネルのCTは64列と320列が1台ずつ。MRIは3.0テスラが1台、1.5テスラが2台導入されています。病棟の規模の割には大変充実しているのではないのでしょうか」と話すのは放射線科部長の趙成済医師だ。複数台配備されていればタイムロスなく

いつでも検査ができる。24時間体制の病院に併設されているため、時間に融通が効くのも特徴だ。「朝夕方、日曜日に検査をすることもできます。ご希望に合わせて、CTやMRIも撮れます」

「患者さんにはなるべく検査で辛い思いをしてももらいたくありません。ですから、被ばく量が少なく画像の精度も高い最新のCTやマンモグラフィを導入しているんです。また最近の胃カメラや大腸内視鏡などは、昔と違って細くなっていますから、体への負担は以前より少ないと思います。もう一つ安心なのは画像診断のスペシャリストと、

起こす病気を予測し、検査のアドバイスをお願いします」何歳からオーダーメイド健診が必要なのだろうか? 「15歳を過ぎたら1度は受けていただきたい。何も異常がなければ5年は大丈夫でしょう。その間も一般健診は毎年受けてください」会社員には企業健診があるが「専業主婦にこそ定期的に健診を受けてほしい」と語るのが、同じく健診を担当する宮下千代子医師だ。

「早期に発見して治療すれば死ななくてもすむ病気が増えています。ところが主婦の方はなかなか健診を受ける機会がありません」特に女性は閉経期を境に高脂血症が増えるという。しかし自覚症状がなく、気づかない人も多いそう。健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「電子カルテで過去のデータや画像を保管しているのだから、定期的な健診を受ける小さな変化も見過ごさない」一人ひとりに合わせたオーダーメイド健診と、新機器を使用した精密な検査、専門医による丁寧な診断と治療。これらが三愛病院の安心・安全な病院であり続ける理由だ。

さらにLECSのメリットについて聞いた。「通常の胃粘膜下腫瘍手術では切除する範囲が大きく広がってしまふんです。そうすると胃の変形が大きくなって患者さんのQOL(生活の質)が下がってしまいます。内視鏡を併用して内側から腫瘍ギリギリまで切ってもらえば、過剰な切除ができません」

「健康センターで行っている健診で早期に病気を発見して、すぐに治療に入れるのが当院の特徴です。検査の直後に消化器内科の医師から相談を受けて、患者さんに治療について説明することもできます」

新型の検査機器と診断のスペシャリストが揃った 受診者のニーズに合わせて柔軟に対応する

「約3年前、私が着任してから検査機器が刷新されました。多チャンネルのCTは64列と320列が1台ずつ。MRIは3.0テスラが1台、1.5テスラが2台導入されています。病棟の規模の割には大変充実しているのではないのでしょうか」と話すのは放射線科部長の趙成済医師だ。複数台配備されていればタイムロスなく

「健診や人間ドックは健保の補助が出る場合もありますが、基本的には自費です。おいしいものを食べた後からお店をよく下調べしてから選ぶように、ご自分で健診を選んでいただくようにお願いします」と趙医師。「血縁者ががんが多い」「心筋梗塞の家系だ」という場合もオプションで検査が組み合わされる。これが三愛病院の「オーダーメイド健診」である。

危険因子を洗い出して病気を予測する 三愛病院の“オーダーメイド健診”とは?

オーダーメイド健診の特徴は、個々の都合に合わせて、いつでも予約でき健診の先は病気を発見するということになります。話しを自由に組み合わせられる点にある。

「いきなりオーダーメイドと言われても受診される方は戸惑いますよね。最初健診を担当する私たちが間診して、既往歴やご家族と

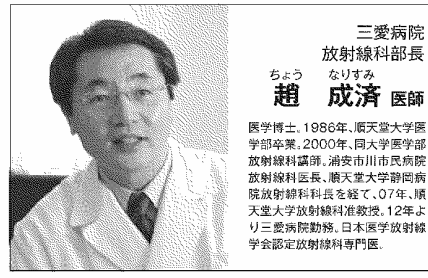
「大腸がん健診では、まず便潜血の検査をしますが、がん発生の危険性のある前がん病変や腺腫は見つけることができません。大腸がんや大腸ポリープは十分に治療可能な病気です。内視鏡検査に抵抗がある方も多いと思いますが、静脈麻酔で痛みもほとんどありませんし、検査だけであれば

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」



三愛病院 放射線科部長 趙成済 医師
医学博士。1986年、順天堂大学医学部卒業。2000年、同大学医学部放射線科講師。浦安市川市市民病院放射線科部長、順天堂大学附属病院放射線科部長を経て、07年、順天堂大学放射線科准教授。12年より三愛病院勤務。日本医学放射線学会認定放射線科専門医。

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

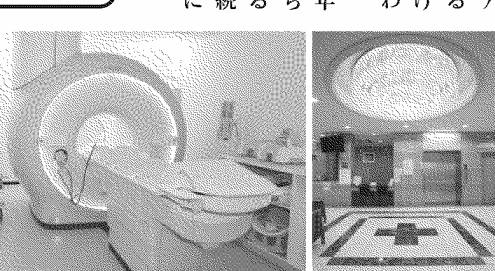
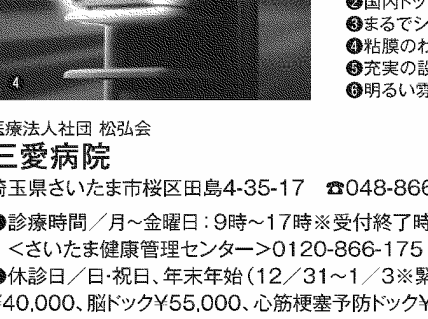
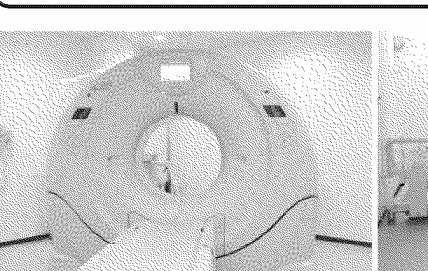
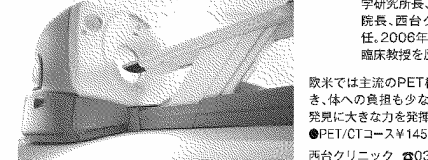
「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

「健康を守るには食事と運動です。個別に指導させていただきますので、健診をきっかけに生活を見直したいと願っています」

三愛病院の提携先として がん発見に威力を発揮する PET健診も受診可能

2000年に開設された西台クリニックはPETによるがん健診のバイオニア。これまで6万件を超える検査実績を持つ。「PETは短時間で全身が検査でき、がんの転移もわかります。その結果、患者さんは状態に即した治療を受けることが可能になります」と清陽高穂院長。早期発見のためにも50歳になったら1度は受けてほしい検査だ。



医療法人社団 松弘会
三愛病院
埼玉県さいたま市桜区田島4-35-17 ☎048-866-1717(代) <http://www.sanai.or.jp>
●診療時間 / 月～金曜日：9時～17時 ※受付終了時間は16時、土曜日：9時～12時
＜さいたま健康センター＞0120-866-175 受付時間 / 月～土曜日：8時30分～16時30分
●休日 / 日・祝日、年末年始(12/31～1/3 ※緊急の場合は随時診察可) ●主な健診料金 / 人間ドック ¥40,000、脳ドック ¥55,000、心筋梗塞予防ドック ¥50,000、乳がん検診ドック ¥9,500 ※料金はすべて税別